

## 大分県医労連 第65回定期大会 開催！！



### 杉本新執行委員長 団結張ろう！！

大分県医労連は、9月17日（日）4年ぶりに別府亀の井ホテルでハイブリッド形式で第65回定期大会を開催しました。代議員21名、役員、来賓含む計46名が参加しました。来賓として、大分県労連川路議長から連帯の挨拶を頂きました。**学習会**では、組織拡大強化についての具体例を聞く「今こそ働く者の要求実現のため労働組合を強く大きくしよう」をテーマに日本医労連から森田書記長にお越しいただき、しっかり学ぶことができました。中でも医療・介護産業は離職率が高く、医療が10%～12%、介護では16%～17%、医労連組織で毎年12,000～13,000人が退職（脱退）しているとのことでした（加入12,000人程度はしているが・・・）4月の入職者数で補充できた医療機関は約3割、補充しきれない医療機関では5割未満が1/4もあったとのこと驚きです。今回の大会では、物価が高騰する中、賃金が上がらず、命をあずかる職場、いつも緊張感を持って働いている医療従事者がズ～と賃金が上がらない等の声が多く上がり、これでは退職するよ（ノド）ツツツ…、どこまで我慢させられるの（ノド）ツツツ…！

だって、あのコロナ禍でどれだけ医療従事者が頑張ったのか！どれだけ我慢したのか！どれだけ、どれだけ頑張れば賃金が上がるのか！！「診療報酬、介護報酬に縛られて全く賃金が上がらない」というのはもう限界！！（ノド）ツツツ…



秋闘は、『だれもが人間らしく生活できる賃金底上げと大幅賃上げ』で

団結しましょう！！ 2016年度から大分県医労連委員長として7年間頑張っていた日野智子さんが退任となり、新執行委員長に杉本公彦さんが選出されました。

最後に杉本新執行委員長から“人を大切にしない職場を变る、賃金を上げる運動、組合があれば安くて働き続けられる職場、そんな組織にしたいです。日野さんには顧問に残ってもらいサポートしてもらいたいと挨拶し、団結頑張ろうで閉会しました（ノ）／



検索！

<http://oita-irouren.net/>

労働組合とはなんぞや？

前回、診療報酬・介護報酬のことで「診療報酬は2年に1度、介護報酬は3年に1度の改定があります。」と掲載しました。2024年度の次期診療報酬改定にむけて第8次医療計画、医師の働き方改革等を含む新たな医療計画の議論が始まりました。より質が高く効率的な医療提供を実現するための『医療DX（デジタルトランスフォーメーション）』を進める必要があると。その医療DXとは、病院、薬局、訪問看護ステーションなどの医療機関におけるデジタル技術を活用することでありました。ペーパーレス化に向けた目的ですが、マイナンバー制度も大きなトピックが続く、コスト削減がコストアツクになっている状況で、本当に効率が良いデジタル化ができるのかいささか疑問です。日本は先進国であるにも関わらずデジタル化にはかなり遅れており、信頼が今一です。将来に向けてデジタル化は基本となるのは理解しますが、サイバー対策も含め「これで安心!!」となつてから（教育・育成等含む）進めて欲しいものです。医療従事者の業務改善、業務負担の軽減、大幅人員増はもちろん、ズ～と賃金アップされていなかったことを踏まえてより良い議論を期待します。

共に頑張りましょう！！ 次回へ